

2016年5月24日
株式会社パートナーエージェント
(証券コード: 東証マザーズ6181)

Vol.53 QOM総研「結婚適齢期で未婚の子どもを持つ親の意識調査」

子供に「絶対に結婚してほしい」父親は、母親の2倍以上！ 半数以上の親は3年以内に結婚してほしい

～都市部では同世代との比較から、地方では家系の存続を理由に、子供の結婚を望む傾向～

成婚率にこだわる婚活支援サービスを展開する株式会社パートナーエージェント(証券コード: 東証マザーズ:6181、本社: 東京都品川区、代表取締役社長: 佐藤茂、<http://www.p-a.jp/>、以下パートナーエージェント)は、「結婚適齢期で未婚の子供を持つ親御様の意識」に関するアンケート調査を実施いたしましたので、その結果を発表いたします。

<調査背景>

最近では「親の婚活」「代理婚活」といった言葉が登場し、当社も子どもの結婚で悩む親御様向けセミナーを開催するなど、子供の結婚に積極的に関わろうとする親御様に注目が集まっています。

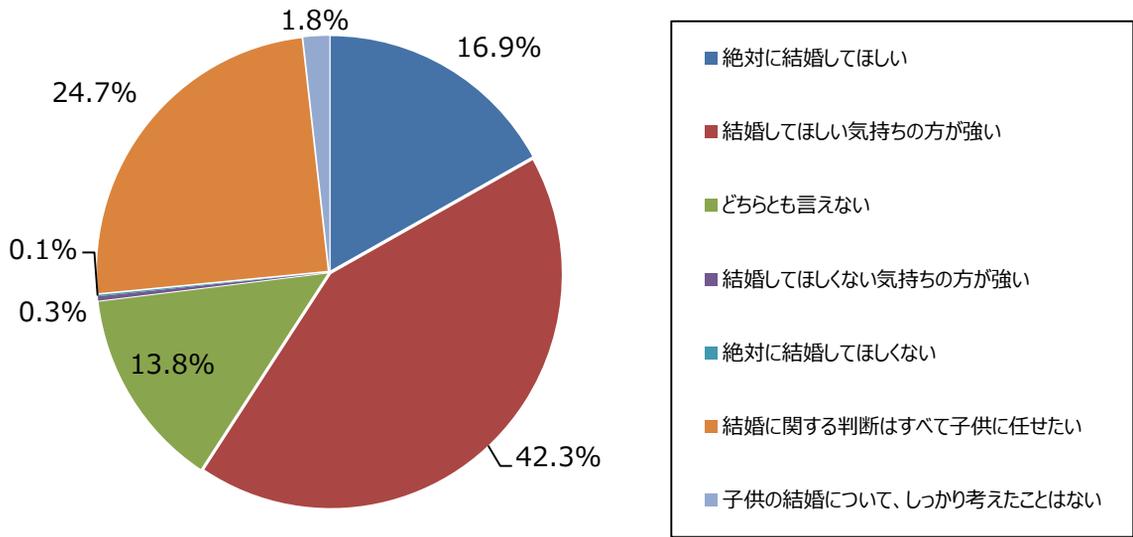
子供を持つ親御様は、子供の幸せを願っているものです。子供が育って大人になれば「子供の幸せ＝結婚」と考える親御様も多いと思いますが、結婚適齢期を迎えても未婚でいる子供に対して、親御様はどのような気持ちでいるのでしょうか。「母の日」「父の日」を迎えるこの時期に、未婚の子供を持つ60歳以上の既婚の男女を対象に調査してみました。

<調査結果サマリ>

- ・5人中3人が子供に「結婚してほしい」。「結婚してほしくない」はわずか0.4%
- ・「絶対に結婚して」と願うのは母親より父親。子供の年齢が上がると「子供に任せたい」と考えるように
- ・未婚の子供には、3年以内(50.9%)、5年以内(77.3%)に結婚してほしい
- ・親が「結婚して」と願うのは、子供の「幸せのため」(69.8%)や「生活の安定のため」(57.8%)
- ・都市部の親は同世代が結婚したから、地方の親は家系を守るために「結婚してほしい」

■5人中3人が子供に「結婚してほしい」。「結婚してほしくない」はわずか0.4%

Q. 未婚のお子さんの結婚に対して、あなたはどのように考えていますか。(n=1423)※ 必須回答
まずは、子供の結婚についてどのような希望を持っているのか、未婚の子供を持つ親御様に質問してみました。

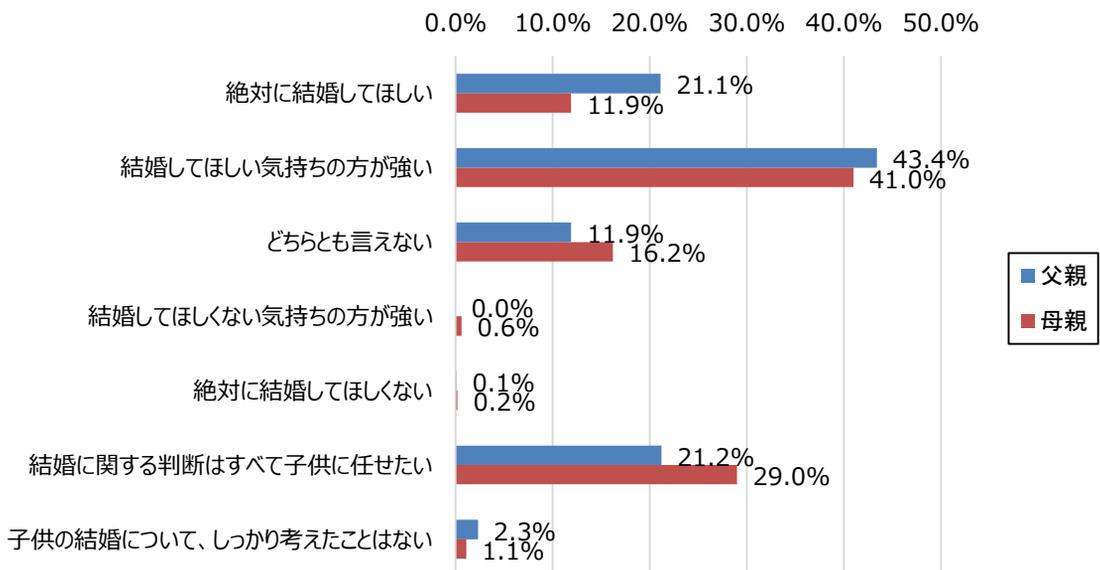


「絶対に結婚してほしい」が16.9%、「結婚してほしい気持ちの方が強い」は42.3%と、子供の結婚を望む親御様は合わせて59.2%。一方、「結婚してほしくない気持ちの方が強い」、「絶対に結婚してほしくない」を選んだ親はそれぞれ0.1%、0.3%となり、大半の親が子供の結婚を望んでいることが分かりました。

また、「結婚に関する判断はすべて子供に任せたい」という親御様は24.7%。4人に1人は子供の結婚に関して自由にさせていることが分かりました。

■「絶対に結婚して」と願うのは母親より父親。子供の年齢が上がると「子供に任せたい」と考えるように先ほどのデータを、父親・母親別、子供の年齢別に分けて集計してみました。その結果が次のグラフです。

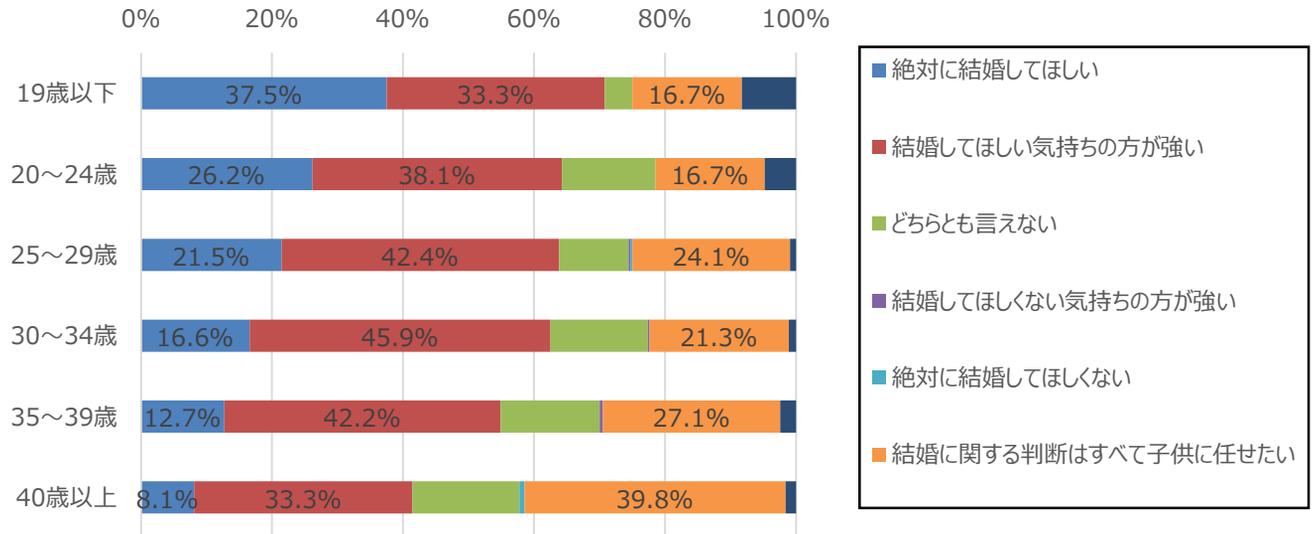
父親・母親別



父親・母親別の回答を見比べてみると、「絶対に結婚してほしい」と強く望むのは、母親(11.9%)よりも父親(21.1%)だったことが分かりました。

反対に「結婚に関する判断はすべて子供に任せたい」という回答を選んだのは、母親が29.0%で父親が21.2%。母親の方が子供の意志を尊重する傾向にあるようです。

子供の年齢別



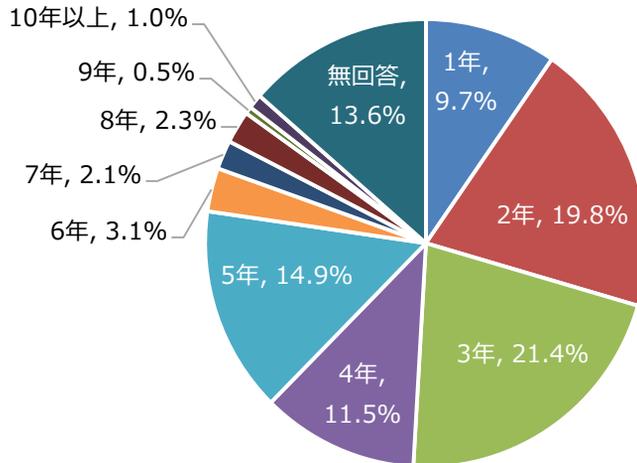
子供の年齢が「19歳以下」「20~24歳」では共に16.7%だったのが、「40歳以上」になると39.8%になりました。子供の年齢が上がるほど、親は結婚の判断を子供自身に任せたいと考えるようになるのでしょうか。

■未婚の子供には、3年以内(50.9%)、5年以内(77.3%)に結婚してほしい

Q. あなたの未婚のお子さんの現在の年齢と、「この年齢までに結婚してほしい」と希望している具体的な年齢を教えてください。(n=400)

それでは、親は未婚の子供に「何年以内に結婚してほしい」と考えているのでしょうか。25歳以上の結婚適齢期の子供を持ち、子供には「絶対に結婚してほしい」「結婚してほしい気持ちの方が強い」と期待している親に絞って尋ねてみました。

子供の現在の年齢と、結婚してほしいと希望している年齢について数値を記入してもらい、その差を算出して作成したグラフがこちらです。

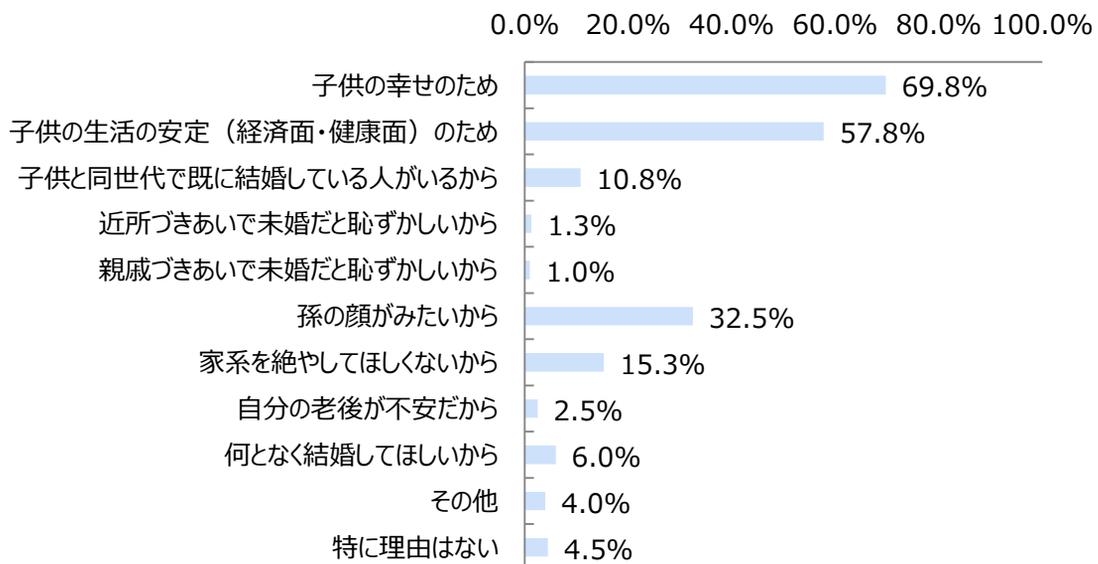


「1年」後には結婚してほしいと希望する親は9.7%、「2年」後を希望する親は19.8%、「3年」後を希望する親は21.4%でした。

3年以内に結婚してほしい親御様は50.9%、5年以内に結婚してほしい親御様は77.3%になりました。

■親御様が「結婚して」と願うのは、子供の「幸せのため」(69.8%)や「生活の安定のため」(57.8%)

Q. あなたが未婚のお子さんに対して、「絶対に結婚してほしい」あるいは「結婚してほしい気持ちの方が強い」と考える理由は何ですか。(n=400)※必須回答・複数回答可
さらに、親御様が子供に結婚してほしいと希望する理由について調査しました。

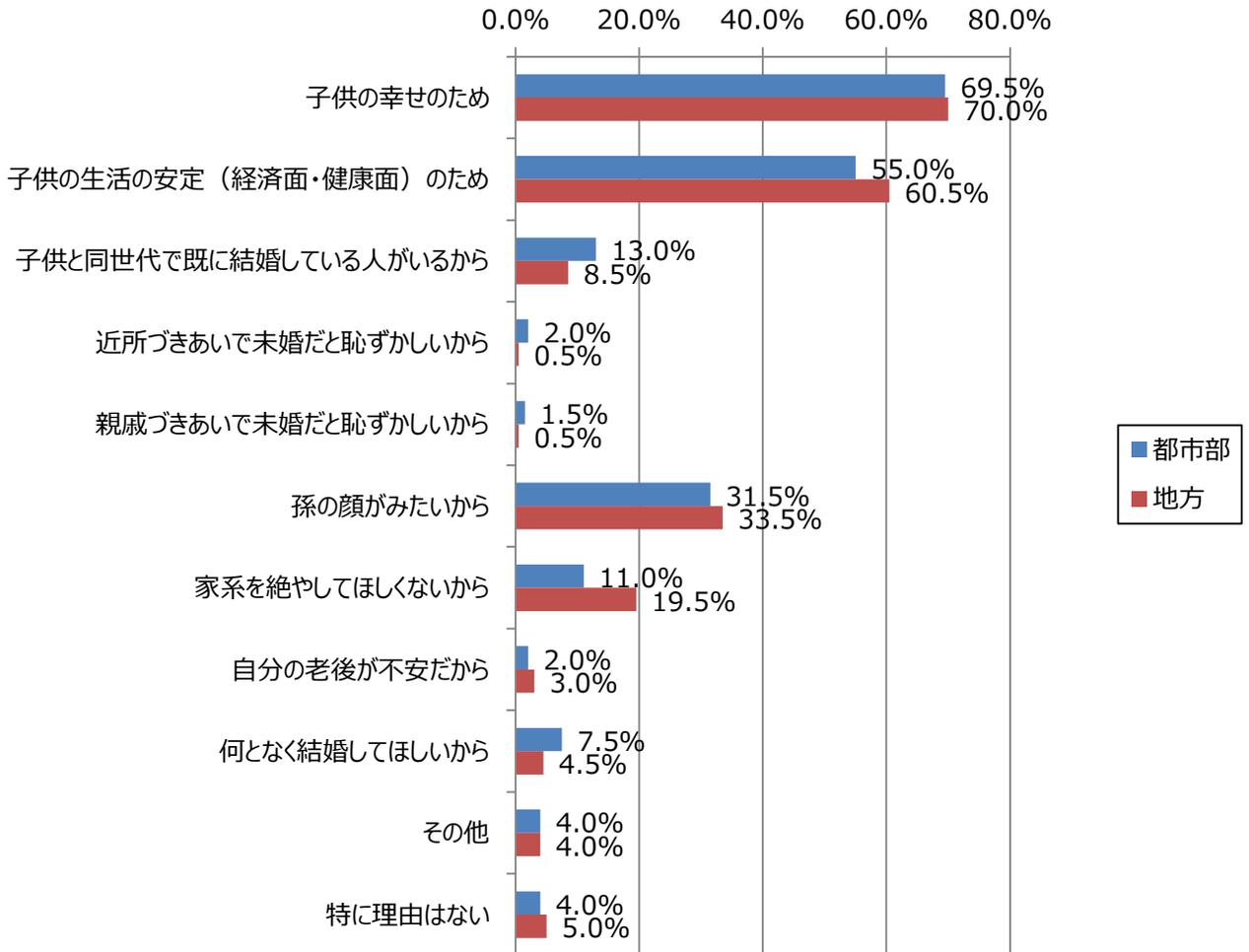


最も回答数が多かったのは「子供の幸せのため」で69.8%。次いで、「子供の生活の安定(経済面・健康面)のため」が57.8%でした。半数以上の親が、子供のためを思って結婚を望んでいることが分かります。

また、「孫の顔が見たいから」という回答も多く、32.5%。一方、「未婚だと恥ずかしいから」という回答は「近所づきあい」「親戚づきあい」のいずれの観点からも、1%程度という結果になりました。

■都市部の親御様は同世代との比較、地方の親御様は家系を守るために「結婚してほしい」

都市部（「首都圏」あるいは「政令指定都市の都市圏」）に住む親と地方（「地方中核都市圏」あるいは「中小都市や農村部」）に住む親とを比べたときに、子供に結婚してほしい理由に違いはあるのでしょうか。それぞれのグループで集計した回答を比較してみました。



「子供と同世代で既に結婚している人がいるから」という回答は、都市部に住む親御様で13.0%、地方では8.5%でした。都市部では周囲の結婚状況を気にする親御様が多いようです。

また、「家系を絶やしてほしくないから」と回答した親御様は、都市部では11.0%で、地方では19.5%。地方に住む親御様ほど、家系の存続を子供に期待していることが分かります。

親御様には親御様の考えがあって、子供に結婚してほしいと願っているようです。「親の心子知らず」とは言いますが、子供のためを思って「早く結婚してほしい」と願う親御様の心を察することも大切なことかもしれません。

調査方法: インターネット調査

調査対象: 1度も結婚したことがない未婚の子供を持つ60歳以上の既婚男女 1,423名

集計期間: 2016年4月28日～5月2日

調査対象: 子供には「絶対に結婚してほしい」「結婚してほしい気持ちの方が強い」と回答した既婚男女 400名

(「首都圏」あるいは「政令指定都市の都市圏」に住む回答した既婚男女 200名

「地方中核都市圏」あるいは「中小都市や農村部」に住むと回答した既婚男女 200名

集計期間: 2016年5月6日～5月7日

[株式会社パートナーエージェント 会社概要]

商号: 株式会社パートナーエージェント

証券コード: 東証マザーズ6181

代表者: 代表取締役社長 佐藤 茂

創業: 2006年9月

所在地: 東京都品川区大崎1丁目20-3

イマス大崎ビル4階

URL: パートナーエージェント <http://www.p-a.jp/>

おとなの婚活パーティーOTOCON <http://www.otocon.jp/>

OTOCON MEMBERS 婚活カウンター <https://www.members-o.jp/>

- 事業内容:
1. 結婚相手の紹介、相談
 2. 交際、結婚に関する調査研究
 3. イベント、旅行の企画・運営
 4. 生命保険、損害保険代理店
 5. 挙式、披露宴の企画・斡旋
 6. カウンセリング、各種セミナー運営
 7. 会員誌、その他出版
 8. Webサイト、Webコミュニティの企画・運営



～代表メッセージ～

現代は、結婚しにくい時代と言われています。

仲人やお見合いなどの社会的な出会いの場が減少し、結婚をしたくても機会に恵まれない多くの独身者がいます。

当社は、もっと信頼できる結婚情報サービスを目指して設立されました。

従来の結婚相談のサービスを見直し、結婚を望む顧客へ高い成果を提供することで多くのお客様の支持を頂いてきました。

これからも、1年以内の結婚を支援するエージェントとして

未婚・晩婚を解決する社会の実現へ貢献して参ります。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>
株式会社パートナーエージェント 広報担当:野沢
TEL:03-6388-9831(部署直通) FAX:03-5759-2701
Mobile:080-4575-7766(担当者直通)